

ESGの取り組み

ENVIRONMENT 環境

》環境方針

永大産業では、持続可能な社会の実現に寄与するため、ISO14001に準拠した環境方針を定めています。

基本方針

永大産業は、地球、社会、人との共生を通じて、環境保全に取り組み、なお一層の社会貢献を目指します。

行動指針

1 企業活動

- 1 エネルギー、水資源を有効に活用し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。
- 2 Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)の3Rを推進し、循環型社会の発展に寄与します。
- 3 管理基準を設定し、環境負荷の大きな物質の使用・排出を抑制するとともに、汚染の予防に努めます。
- 4 合法木材の積極的な採用をはじめ、環境に配慮した資材の比率を高めます。
- 5 環境マネジメントシステムを定期的に見直し、継続的改善に取り組みます。
- 6 環境方針で定めた内容を当社で働くすべての人に周知します。

2 社会的責任

法令を遵守し、地域との連携を深め、広く社会から評価される企業を目指します。

3 情報の開示

企業活動に関する情報は随時、開示します。

》炭素固定の取り組み

木材や木質ボードを用いた製品は、住宅等の中で長期間にわたり、炭素を固定する役割を果たしています。温室効果ガス(二酸化炭素)の排出を抑制し、地球温暖化を防止する取り組みが求められる中、当社は、建築廃材をマテリアルリサイクルした木質ボード(パーティクルボード)の生産や、木材資源の有効活用を行い、低炭素社会の実現に貢献しています。当社グループが2018年度において、木質ボードや木製品の生産を通じて住宅等の中に固定した炭素量は約13万1,000トン、二酸化炭素に換算して約48万トンでした。

※次の製品の生産量または出荷量で集計しています。
 建材製品(フローリング、室内階段等 関係会社を含む)
 内装システム製品(室内ドア、造作材等 但し最も生産量または出荷量の多いものを抽出)
 住設製品(システムキッチン、洗面台) 木質ボード(パーティクルボード、関係会社を含む)

